

(学校用)

様式 A-1

平成 年 月
日

サイエンス・ダイアログ 実施報告書

1. 学校名・担当者氏名: 滋賀県立彦根東高等学校 SSH 推進室 上阪 宏
2. 講師氏名: Đào Quang Duy
3. 同行者氏名: 尾崎 雅則
4. 実施日時: 平成 27 年 6 月 10日 (水) 16:30 ~17:30
5. 参加生徒: 2年生 18人、 1年生 2人、 3年生 0人 (合計 20人)
備考: (例:理数科の生徒)ほぼ全員が SSH クラスの生徒でした
6. 講演題目: (英文) How can we gain solar energy
(和文) 太陽エネルギーをどのように得るか
7. 講演概要:
エネルギー入手の概略から講義を始められ、太陽電池の仕組みの話がされました。さらに今主流のシリコン太陽電池から有機太陽電池へと進まなければならないこと、そして有機太陽電池開発の課題について話されました。最後に、科学者の姿勢一般について話をされました。
8. 使用言語: 英語と日本語
9. 講演形式:
 - (1) 講演時間 60 分 質疑応答時間 10 分
 - (2) 講演方法 (例: プロジェクター使用による講演、実験・実習の有無など)
プロジェクター使用による講演
 - (3) 通訳 (例: 同行者によるサポート、外国人研究者本人による日本語説明)
同行者によるサポート
 - (4) 事前学習時使用教材(事前学習を行った場合のみ)
講師からいただいた専門用語集を各自で予習
10. 学校からの支給経費(該当がある場合): 交通費 宿泊費 謝金

11. その他特筆すべき事項:

英語教員としては、ネイティブスピーカーによらない英語に触れられる貴重な機会と考えるのですが、生徒にはベトナム語なまりの英語は大変理解するのが難しかったようで、英語を理解出来たという自信を持つ機会にはならなかったのが残念です。